

全 般

意見・提言要旨	県の考え方
<p>計画では5年後にはこうしたいという積極的な意思表示が必要。そのためには、個別かつ具体的な数値目標を使って方向性を示してほしい。例えば、県民一人当たり所得を5年以内に10位以内に持っていくといった目標を掲げてもらおうと、めざす姿に向かって県民が一致協力して力を合わせていけるのではないか。</p>	<p>計画では、県として取り組むべき施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれに達成目標を掲げるとともに、中・長期的な視点に立った挑戦プロジェクトの7つの各テーマには挑戦目標を掲げ、県民と共有しながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>企業活動は、環境や人づくりと別の柱になっているが、双方とも関わりがある。分野横断的な取組の整理等により施策の整合性を図る必要がある。</p>	<p>計画では、県として取り組むべき施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化するとともに、中・長期的な視点から積極的に取り組むべき分野横断的なテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>人口や金が都会に集中する中、長野県らしさを出して差別化していかないと、これから生き残っていけないと思う。長野県は自然環境に恵まれており、ものづくりにおいてもいろいろな産業が発達している。それらを更に伸ばしていく必要がある。</p>	<p>計画では、「優れた特色や資質をベースに世界に開かれた意識で進める県づくり」を県づくりの基本的視点に位置付けました。また、主要施策を着実に進めるとともに、中・長期的な視点に立って魅力的な県づくりを進める観点から、「一人当たり県民所得全国レベルへの挑戦」をはじめとする挑戦プロジェクトの7つのテーマを掲げました。</p>
<p>長野県は南北に長いので、長野県の中で地域間格差が出てきていないか心配。そういった面にあたたかい目を向けてほしい。</p>	<p>計画では、各地域別の特性と発展方向についても明らかにし、地域の実情を踏まえた長野県全体の一層の均衡ある発展をめざしていくこととしています。</p>
<p>長野県人は広告や宣伝が下手だと言われている。長野県らしいことを遠慮なくPRして行ってほしい。</p>	<p>計画では、「優れた特色や資質をベースに世界に開かれた意識で進める県づくり」を基本的視点の一つと位置付けて県づくりを進めることとしました。計画を推進する中で、御意見の趣旨が反映されるよう努めていきます。</p>
<p>長野県はどのようなところに特徴があって、どこが魅力が強く打ち出してほしい。</p>	<p>計画では、「優れた特色や資質をベースに世界に開かれた意識で進める県づくり」を県づくりの基本的視点に位置付けました。また、主要施策を着実に進めるとともに、中・長期的な視点に立って、本県の特色をさらに伸ばし、際立たせるなど、魅力的な県づくりを進める観点から、「健康長寿NO.1確立への挑戦」、「地球温暖化対策先進県への挑戦」といったテーマを、挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
産業振興戦略プラン等先行している個別の計画と政策の一体感をもって策定してほしい。	この計画は、各種の個別計画との整合に配慮して策定しました。
昨今の個が前面に出され強調されてきた価値観を乗り越えて、もう一度周りを振り返り、地域と自分、社会と自分の関係や自らの存在意義を改めて考えてみる必要がある。	計画では、価値観の多様化や地域との関わりの希薄化、公共の担い手の多様化などの現状に関する認識を「時代の潮流」等で記述するとともに、県だけでなく、県民の総合力や自助・共助・公助によって進める視点を県づくりの基本的視점에盛り込みました。
人と共に生きる意義や自然と共に生きる意義といった根源的なことを盛り込む必要がある。	計画では、県だけでなく、県民の総合力や自助・共助・公助によって進める県づくりの視点や、豊かな自然と共に生きる視点を、県づくりの「基本的視点」や「めざす姿」等に盛り込みました。
長野県はオリンピック等を開催したボランティアとホスピタリティあふれる県であるので、人づくりを是非厚みを持った形で計画に盛り込んでほしい。	挑戦プロジェクトのテーマの一つに「次代を担う多彩な人材育成県への挑戦」を位置づけるとともに、「明日を担い未来を拓く人づくり」を主要施策の柱の一つとしました。
計画は数値目標を入れないとつくっただけになってしまう。無理に数字でなくて、全国の中の順位でもよい。数値目標を入れてお互いにそれに向かって努力することが必要。	計画では、県として取り組むべき施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれには数値目標を基本とする達成目標を掲げ、県民と共有しながら取り組んでいきたいと考えています。
(大綱では) 行政のつくる計画は、どこからもつつつかれないようにするため、どこが一番重点だか分からない。	計画では、計画期間に取り組むべき施策を体系化して総合的に、着実に進めることを基本としていますが、加えて、選択と集中の考え方のもとに、中・長期的な視点に立って積極的に取り組んでいく必要があるテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。
大綱と地域編がうまく整合し、つながるようにしてほしい。	審議会答申を受けて作成した計画には、県全体の施策に加えて、本県のめざす姿や主な施策に沿った、県内の各地域別の特性と発展方向について示しました。

意見・提言要旨	県の考え方
<p>大綱に「時代にふさわしい長野県づくり」とあるが、もっと先を行くものを打ち出してほしい。</p>	<p>この計画は、5か年の総合計画であることを基本としながら、特に「時代の潮流」の認識や「挑戦プロジェクト」の各テーマなど、中・長期的な視点を加味して策定しました。</p>
<p>大綱の「時代の潮流」をもう少し整理できないか。パートによってはあまりに範囲が広くて焦点がぼけてしまっている箇所も見受けられる。</p>	<p>時代の潮流については、審議会の議論により、現在の日本や長野県を取り巻く潮流の一つとして、現状認識が重要な事柄を整理したものです。様々な御意見を踏まえ、審議会答申までの間に、さらに若干、修正、整理が加わっています。</p>
<p>大綱の「県づくりの方向」をもう少し言い切った方がよい。「～ことが欠かせない」とか「～ことが重要である」とか、どちらに転んでもいいような言い回しは計画に勢いがなくなる。</p>	<p>大綱の御指摘の部分については、審議会答申を受けて策定した計画では、第5編「施策の展開」として県の取り組むべき施策についてあらためて肉付け、整理しました。</p>
<p>県歌信濃の国のような県づくりの基本を打ち出してほしい。大綱には固有名詞がほとんどないので、どこの県にも当てはまるようなことが有り過ぎる。地域編があるにしても、広くて特色ある県土を鳥瞰的に眺めて南信、中信、東信、北信が有機的にどうやっていくのかつかめない。</p>	<p>審議会答申を受けて策定した計画では、「第5編 施策の展開」として県の取り組むべき施策についてあらためて肉付け、整理しました。あわせて、地域編についても可能な限り具体的な記述としました。</p>
<p>(計画全般への提言。地域懇談会発言をこの計画を含むこれからの計画に)是非この場の提言を将来的でも構わないので活かしてほしい。</p>	<p>これまで頂戴した多くの意見は、計画策定の参考とするとともに、今後の取組に生かしてまいりたいと考えています。</p>
<p>県の計画は市町村で義務付けられている総合計画や国の計画との齟齬があってはいけない。分野ごとの実施主体を明確に書いていく必要があると思う。</p>	<p>市町村等との役割分担に留意するとともに、様々な機会を通じて頂いた市町村の御意見にも配慮しつつ、県として取り組むべき方策について記述しました。</p>
<p>中期総合計画の究極の目的は、県民が豊かで明るく健康な暮らしのできる県土をつくることであり、計画において誘導施策を示すべきだと思う。</p>	<p>御意見の趣旨は、「めざす姿」や「基本目標」に反映するとともに、主要施策や挑戦プロジェクトのテーマなどに反映しています。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>総合計画について、「地域編」の策定とともに地域別に数値目標を設定すべき。</p>	<p>各地域毎の特色や個性を踏まえ、県下全体の均衡ある発展を図る観点から「各地域別の特性と発展方向」の編を設けました。なお、達成目標については、県全体での見通し等から数値を算定しているものが多いため、各地域毎の達成目標を計画に明示することは困難ですが、県全体の達成目標を一つの目安として各地域毎の施策展開を図っていきます。</p>
<p>各地域において、自分達が目標値をどこに置いているのか認識していないとすればそれは目標ではない。</p>	<p>計画では、県として取り組むべき施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれには数値目標を基本とする達成目標を掲げました。それぞれの施策や目標は、御意見の趣旨を踏まえ、県の各機関相互はもとより、県民との共有を図りながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>県の総合計画は、市町村計画とも整合性を図るべき。</p>	<p>計画の策定過程では、地域編の作成を市町村等の御意見をもとに行ったほか、総合計画審議会、ボイス81、県の団体との懇談会、地方事務所単位や全県での意見募集など様々な機会を通じて、市町村長をはじめ市町村の皆様から市町村の現状に即した様々な御意見を数多く頂戴し、計画策定への反映に努めました。</p>
<p>中期総合計画には、夢があることと同時に、将来必ず実現できることを盛り込まなければならない。</p>	<p>計画では、計画期間中に県が取り組むべき主な施策を体系化して示すことを基本としながら、加えて、中・長期的な視点に立って魅力的な県を築いていくための挑戦プロジェクトの7つのテーマを掲げました。</p>
<p>行政がアプローチすべきこと、住民がアプローチすべきことを分けて計画に入れてほしい。</p>	<p>計画は、今後の県づくりで県がとるべき方策について総合的、体系的に示すことを基本としており、県だけでなく、すべての県民の協力により取り組んでいくことを県づくりの基本的な視点としています。なお、県と他の主体との役割分担を踏まえた取組が重要である点にも留意して進めていきます。</p>
<p>外から来る人の目線を計画に入れてほしい。観光面等のニーズがわかる。</p>	<p>計画の策定にあたって、県民意見募集やパブリックコメントで県内外の方から御意見をいただいております。観光面も含めた計画策定の参考にするとともに、今後の取組に生かしてまいります。</p>
<p>長野県はどのような方向で進んで行くのか、わかりやすく県民に示す必要がある。長野県が何に力を入れてやるのか、長野県はこうやるということを出す必要がある。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱に体系化し、それぞれに達成目標を示したほか、中・長期的視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>地域が頑張っても、グローバル化した現代においては世界情勢の影響を受ける。それを原点において、長野県はこうやるんだ、ということをはかりやすく示す必要がある。</p>	<p>第1編「長野県を取り巻く時代の潮流」において掲げているグローバル化の進展についての認識のもとに、県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれに達成目標を示したほか、中・長期的視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>計画はあまり長くダラダラしても、読みはしない。誰が見てもわかりやすい形で示すのが大事である。</p>	<p>主要施策を統一的な形式で編集し、それぞれに達成目標を示すなど、内容をできるだけわかりやすく表すよう努めました。</p>
<p>村井県政はこれを目指しているということをはかりやすく示すこと必要である。観光なら1億人をめざすとかいうように目標を作り、わかりやすく示すことが必要である。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれに達成目標を示したほか、中・長期的視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。 (御指摘の観光の事例は、達成目標の一つとして掲げています。)</p>
<p>(大綱について) 県全体の課題を示し、その中でも特に地域が抱えている特有の課題をはっきりと示した上で、それに対する施策のあり方や考え方をまとめていただいたほうがわかりやすいのではないかと思う。</p>	<p>審議会答申を受けて作成した計画には、県全体の施策に加えて、県内の各地域別の特性と発展方向についても示しました。</p>
<p>(大綱について) 中期総合計画が市町村にも親しみやすく、実効性のあるものにするためにも、別冊の「資料編」を作成し、各部局の主な事業を位置付けることが必要だと思う。</p>	<p>この計画は基本的には県づくりの方向性を示したものです。審議会答申を受けて作成した計画には、5つの施策の柱ごとの主要施策についてさらに説明を加えたほか、第6章「主要施策の主な取組」を設け、主要施策ごとに主な取組の内容を記載しました。</p>
<p>総花的にならざるを得ないが、メリハリのある計画とするとともに目標を具体的にわかりやすく数値化する必要がある。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれに達成目標を示したほか、中・長期的視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>総花的にならざるを得ないが、より県民に身近な数値目標と、長野県並びに各地域のより具体的な将来像をどのように描くかが大事である。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱に体系化し、それぞれに達成目標を示したほか、中・長期的視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。また、県全体の施策に加えて、県内の各地域別の特性と発展方向についても示しました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>これからも十分に県民の意見をふまえて計画の策定をしてほしい。</p>	<p>これまで頂戴した多くの意見は、計画策定の参考とするとともに、今後の取組に活かしてまいりたいと考えています。</p>
<p>中期計画などの将来ビジョンの提示は大事である。実際の行動は、理想は民間主導型だが、行政の施策の中で行っていただきたい。</p>	<p>計画は、今後の県づくりで県がとるべき方策について総合的、体系的に示すことを基本としており、県だけでなく、すべての県民の協力により取り組んでいくことを県づくりの基本的な視点としています。計画を推進する中で、県と他の主体との役割分担を踏まえた取組が重要である点にも留意して進めていきます。</p>
<p>(大綱について) 分野を細分化して具体的に示すことができる計画にすべき。</p>	<p>審議会答申を受けて策定した計画には、県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化して示しました。</p>
<p>格差をなくすことによって、都会への人口流出を防げるのではないか</p>	<p>計画では、県がとるべき方策を総合的、着実に進めることに加え、中・長期的な視点に立った挑戦プロジェクトの7つのテーマに取り組むことにより、本県の魅力を一層高めることや、また、各地域の実情に応じた均衡ある発展をめざしていきます。</p>
<p>(大綱について) ゆとり・豊かさは大事な思いが述べられているが、今後施策としてどう具現していくかむずかしい。理想像だけ拾っても中期計画としていい形ではない。各地の懇談会などの意見をこれからまとめて、具体的にどのように進めていくのか考えてほしい。</p>	<p>これまで頂戴した多くの御意見をもとに、今後の県づくりの方向性や方策をこの計画にまとめました。また、今後の取組を進めるに当たって、それらの御意見を活かしてまいりたいと考えています。</p>
<p>長野県は非常に広いので、中期計画では、北信、東信、中信、南信に分けて、取り組んでもらいたい。</p>	<p>県全体の施策に加えて、第6編に県内の各地域別の特性と発展方向についても示しました。</p>
<p>民が先に立って、行政側がフォローするような形でしてほしい。</p>	<p>計画では、県と他の主体との役割分担を踏まえた上で、県だけでなく、すべての県民の協力により取り組んでいくことを県づくりの基本的な視点としています。施策を進めるに際して、御指摘の趣旨を踏まえて対応していきたいと考えています。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>前回の中期計画の達成率を検証するなど、反省に立って計画を立てる必要がある。</p>	<p>個々の主要施策の検討に当たっては、現状及び課題を踏まえた上で進めました。</p>
<p>(大綱について) 施策の緊急度を判断するためには、5年後、10年後の人口推計や財源の見込みを示す必要がある。</p>	<p>計画では、人口、経済の見通しを示しました。また、計画の推進に当たっては、行財政改革プランに沿って進めていくこととしています。</p>
<p>長野県としては、既存の制度にとられるのではなく、制度を変える意欲があるかどうかを施策に示してほしい。</p>	<p>この計画は、県民の協力を得るほか、市町村や国等の理解と協力のもとで目標の実現をめざし、社会経済情勢の変化に弾力的に対応しながら推進していくこととしています。</p>
<p>目標は数値等により具体的に示し、わかりやすい計画にすべきである。地域編においても目標数値を記載してはどうか。</p>	<p>計画では、県として取り組むべき施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化し、それぞれには数値目標を基本とする達成目標を掲げ、できるだけわかりやすい計画になるよう努めました。なお、達成目標については、県全体での見通し等から数値を算定しているものが多いため、各地域毎の達成目標を計画に明示することは困難ですが、県全体の達成目標を一つの目安として各地域毎の施策展開を図ってまいります。</p>
<p>5か年という短いスパンのため、計画が総花的にならないよう、抽象的な言葉ではなく具体的な施策を盛り込んでほしい。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化するとともに、中・長期的な視点から積極的に取り組むべき7つのテーマを挑戦プロジェクトとして掲げました。</p>
<p>(松本地域の) キーワード「田舎五重奏」、「偉大な田舎長野県」は大賛成である。田舎でのゆっくりとした生活をイメージさせるような良い言葉を見つけてはどうか。</p>	<p>各地域別の特性と発展方向の記述では、各地域を端的にイメージするキャッチフレーズを地域ごとに付しました。</p>
<p>既にある各施策と乖離しないよう、整合性のとれた計画としてほしい。</p>	<p>各個別計画との整合性に配慮して策定しました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>景観を守る運動をする中で、住民のやっている所へ県の皆さんに来てほしい。何をやっているか見てほしい。見て、意気込みを感じることをしてほしい。「自助・共助・公助」自分たちは自分たちで守る。守れない部分を多少（県に）助けてもらおう。それを計画に盛り込んでもらえば、より一層良い方向に向く。</p>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、県民の総合力や自助・共助・公助といった県づくりの視点を基本的視点として盛り込みました。</p>
<p>（大綱について）中期総合計画に声を反映させるのであれば、分科会とか各専門分野別での懇談会開催のような手法も考えてほしい。</p>	<p>審議会での審議のほかに、地域懇談会、県の団体との懇談会など、広く意見聴取の機会を設け、審議会の審議や県の計画策定の参考としています。</p>
<p>（大綱について）5ヶ年の中期計画とすれば、重点施策をどこへもっていくかということだと思う。</p>	<p>県として取り組むべき主要施策を5つの施策の柱と44の主要施策に体系化するとともに、中・長期的な視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>中期総合計画と組織再編の整合性を取るべきである。</p>	<p>第7編「計画推進のための県の取組」の「3 財政改革の推進」中に「簡素で効率的な行政組織への改革」を位置付けし、組織再編を計画推進のための県の取組として整合を図っていきます。</p>
<p>地域編に数値目標や目標達成年次を明確に定めた方がよい。</p>	<p>達成目標については、県全体での見通し等から数値を算定しているものが多いため、各地域毎の達成目標を計画に明示することは困難ですが、県全体の達成目標を一つの目安として各地域毎の施策展開を図ってまいります。</p>
<p>緊急の課題として計画期間中の5年でやるものと、今後10年15年と継続していく課題、これを2つに明確に区分して計画を策定すべき。</p>	<p>基本的に施策の体系に示す主要施策については、計画期間に取り組むべき内容について記述していますが、挑戦プロジェクトについては、中・長期的な視点に立って取り組んでいく必要がある7つのテーマを掲げています。</p>
<p>12月県議会までに計画案を作ることだが、余裕をもって、10月下旬か11月上旬には最初の案を示してほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、10月下旬（29日）に案を公表し、パブリックコメントを開始しました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>交通網を含めた地域のあり方を明確に表現してほしい。</p>	<p>各地域毎の特色や個性を踏まえ、県下全体の均衡ある発展を図る観点から「各地域別の特性と発展方向」の編を設け、交通網を含めた地域のあり方について記載しました。</p>
<p>地域編では5年後を見据えたものと、10年後を見据えたものなどの区分した盛り込みが必要である。</p>	<p>「各地域別の特性と発展方向」では、長期的な視点に立って各地域毎の特色や個性を踏まえた発展方向を記載しました。</p>
<p>大綱（案）のグローバル化という言葉は古めかしい気がする。今までのと変わり映えしない気がする。</p>	<p>時代の潮流については、審議会の審議において、現在の日本や長野県を取り巻く潮流の一つとして、グローバル化の進展に関する現状認識が重要である旨の議論をもとに整理されたものです。</p>
<p>（大綱について）地球温暖化の防止、医療の整備、高齢者の介護サービス、子育て支援というような日々の暮らしに関わる事項は計画にきちんと位置付けてほしい。更なる具体的な充実を。</p>	<p>審議会答申を受けて策定した計画では、県として取り組むべき主要施策について、5つの施策の柱ごとに体系化して記述しました。</p>
<p>計画の策定においては、現場に携わっている皆さんの意見をしっかりと聞くことが必要である。</p>	<p>審議会での審議のほかに、地域懇談会、県の団体との懇談会など、広く意見聴取の機会を設け、審議会の審議や県の計画策定の参考としています。</p>
<p>計画で種まきとして、5年・10年・15年かかる事業も盛り込んだうえ、継続性を担保してほしい。</p>	<p>計画では、計画期間中に県が取り組むべき主な施策を体系化して示すことを基本とし、中・長期的な視点に立って取り組んでいく必要のあるテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>中期的に実施する事業、将来に向けた事業、各自治体間で協力して実施する事業等、分野でわかり易く分類してほしい。</p>	<p>計画では、計画期間中に県が取り組むべき主な施策を体系化して示すことを基本とし、中・長期的な視点に立って取り組んでいく必要のあるテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>松本地域では、3市1町5村と地域も大きく変化している。広域行政の果たす役割が更に大きくなる。広域連携の重要性、進む方向付け等を示してほしい。</p>	<p>第6編「各地域別の特性と発展方向」において、各地域の個性や特性を生かした発展方向を明らかにし、地域の実情を踏まえた県全体の均衡ある発展をめざしていきます。</p>
<p>計画書は子育て中のお母さんたち一人ひとりにも届くような形であってほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、県民の皆様にごできるだけわかりやすい計画書となるよう努めました。なお、計画書の概要版を作成するなどにより、計画の周知に努めていきたいと思っております。</p>
<p>民間も含め、それぞれの組織や機関で長期計画等を策定しているが、せめて業種毎に同じ計画期間で策定した方が情報を共有できるのではないかと。</p>	<p>個別の行政分野においては、関連する民間等も念頭においた、より具体的な個別計画を策定しており、本計画はそれらとの整合を図りながら策定しました。 また、この計画は、県民の協力を得ながら目標の実現をめざすことを基本的視点に据えて、推進していきたいと考えています。</p>
<p>実効性のある計画として欲しい。</p>	<p>県民と主な施策や目標を共有し、協力を得て、目標の実現をめざすことが重要であるため、わかりやすい目標設定に努めるとともに、計画の進行管理を適切に行うこととしています。</p>
<p>これからの5年間、どのようなシステム・プロセスで地域間格差の是正に取り組むのか明確に記載する必要がある。長野や松本などの大きな圏域と木曾、大北、北信などの比較的規模の小さな圏域の格差是正をどうするのか。</p>	<p>計画では、各地域別の特性と発展方向についても明らかにし、地域の実情を踏まえた長野県全体の一層の均衡ある発展をめざしていくこととしています。</p>
<p>計画については、総花的でなく「選択と集中」の形にしたほうが効果があると思う。</p>	<p>計画では、計画期間に取り組むべき施策を体系化して総合的に、着実に進めることを基本としていますが、加えて、選択と集中の考え方のもとに、中・長期的な視点に立って積極的に取り組んでいく必要があるテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>様々な分野の人を一堂に集めて、短時間で意見を聞くこのような懇談会が、アライバづくりにならないようにしてもらいたい。</p>	<p>これまで頂戴した多くの御意見は、計画策定の参考とするとともに、今後の取組に生かしていきたいと考えています。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>今日（地域懇談会）は、非常にユニークな人が集まり「地方事務所もこうしたことをやってくれるんだ」とは思うが、ここに来ている人の意見が北信の意見を代表しているわけではない。よい地域とは、平和であること、災害がないこと、犯罪が少ないこと、医療が受けることができること、雇用があり収入を得られること、ではないか。</p>	<p>計画策定に当たっては、審議会での審議のほかに、地域懇談会、県的団体との懇談会など、広く意見聴取の機会を設け、審議会の審議や県の計画策定の参考としました。 計画では、めざす姿の実現に向けて、県として取り組むべき施策を体系的に示し、総合的、着実に取り組んでいくこととしています。</p>
<p>少子高齢化対策はあるが、人口増のための施策が弱いのではないか。人口減で栄えた国はないと言われている。人口増を図るための施策をしっかりと位置づけてほしい。</p>	<p>急速な少子化の進行にできるだけ歯止めをかけられるよう、挑戦プロジェクトのテーマの一つに「出産・子育てにやさしい県への挑戦」を位置付け、行政、企業、地域社会などが連携・協働し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めます。</p>
<p>（大綱について）官がやること、民がやることを明確に区分しないと読んでいてわかりづらい。県が優先すべきことを明確に。</p>	<p>計画は、県が取り組むべき主な施策について、整理、体系化して示したものであり、できる限りわかりやすい記述に努めました。</p>
<p>県民に分かりやすい計画にしてほしい。例えば全国と県の施策の違いが分かるようなコメントをつけてほしい。</p>	<p>計画は、県が取り組むべき主な施策について、整理、体系化して示したものであり、できる限りわかりやすい記述に努めました。</p>
<p>愛・地球博で「自然の叡智」を提唱した方を本県のアドバイザーに登用</p>	<p>計画を実効あるものとするため、県民の視点に立って施策の達成状況を点検、評価できるよう、評価に当たっては、第三者による評価を行うことや県民アンケート調査を活用し、客観的・的確な評価に努めていきます。</p>
<p>計画を策定する前に、県民が参加して地域を学ぶ点検・調査・立案の過程をもうける。</p>	<p>地域で活躍する個人、団体の意見を聴く懇談会や県的団体との懇談会などを設け、現に各分野で活躍する人々の生の声を聴く機会を設けたほか、審議会委員等も直接そうした場に参加して意見を聴くなど、できる限り広範な県民意見の反映に努めました。</p>
<p>行政機関に夜間・休日の常設窓口（保健所・児童相談所・災害関係等）を設置し、24時間いつでも責任のある対応とよりきめ細かな県民サービスを提供する。</p>	<p>第7編「計画推進のための県の取組」の「3 行財政改革推進」に記載のとおり「県民ニーズの変化に迅速・的確に対応でき、県民にわかりやすい簡素で効率的な行政組織への改革」を進める中で、必要に応じて常設窓口の設置の必要性を個別に検討していきます。 なお、県では「児童虐待・DV24時間ホットライン」など、24時間態勢の相談事業を実施しています。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>人口増加の取り組みとして下伊那の交通網を整備するとともに医療・教育を充実させ、中京圏の軽井沢として売り出す。</p>	<p>第6編「各地域別の特性と発展方向」の飯伊地域で、三遠南信自動車道等交通網の整備促進などに取り組み、県土の均衡ある発展と三遠南信地域の核となる地方拠点都市の形成を図るほか、一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育、誰もが健康で生きる喜びを感じられる生活基盤づくりを推進することとしています。</p>
<p>県の役割や必要性等に留意して、なすべき施策等を整理すると同時に、日本・世界の中で県の発展と果たす役割という視点で道州制についての記述をする。</p>	<p>道州制については、住民に身近な基礎自治体と国の役割を十分に議論した上で、中間の広域行政体のあり方を検討することが重要であると考えますが、引き続き国や経済界などの議論の動向を注視する必要があります。</p>
<p>日本・関東甲信越・中部地方の各視点から長野県を捉え、行政改革の中で周辺都道府県とのつながりを強め、相互理解を深める主要テーマが必要がある。</p>	<p>日本列島のまん中に位置し、太平洋・日本海をつなぐ地理的条件にある長野県は、特色ある産業、観光、自然などの地域資源を活かし、周辺都道府県、広域圏、さらには海外との連携・交流を促進することにより、活力と魅力にあふれる県づくりを進めることが重要です。</p>
<p>目標数値の設定については、ハードの個数や普及率ではなく、県民満足度等によるべき。</p>	<p>各主要施策によって、県の施策に関する指標だけでなく、県だけでは実現困難なものを含め、できるだけ適切な指標の選定に配慮しました。</p>
<p>行政の効率化・スリム化の観点から、何から何まで県がやりますといった計画ではなく、スリムな計画にしてほしい。</p>	<p>御意見の趣旨を踏まえ、県民の総合力や自助・共助・公助によって進める県づくりの視点や、県として行財政改革の取組を推進する観点などを盛り込みました。</p>
<p>キャッチフレーズは5年、10年先の長野県の姿を思い描いた具体的なものにしてほしい。観念的なものでよい。</p>	<p>計画の基本目標は、審議会の議論により、私たちを取り巻く厳しい時代の潮流を乗り越え、現状に甘んずることなく、新しい時代の長野県を築いていかなければならない、という認識から、5つのめざす姿を集約して表現されました。</p>
<p>中期総合計画の基本目標設定に伴い、各種行政計画や予算づけ方法、県条例運用の修正が必要なのではないか</p>	<p>計画の策定に際しては、各分野の個別計画との整合に配慮しました。 また、この計画は、新たな時代にふさわしい長野県づくりを計画的、総合的に推進していくためのその方向性を明らかにしたものであり、計画の具体的な推進については、その方向性をもとに、各年度の予算編成等を通じて、国の動向や県の財政状況、社会経済情勢の変化等に弾力的に対応しながら進めていきます。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>人口減少問題をどう捉え、何をしていくべきか、総花的ではなく特徴ある方針を打ち出してほしい。</p>	<p>人口減少をはじめとする時代の潮流を踏まえ、県として取り組むべき方を総合的に体系化すると同時に、中・長期的な視点から積極的に取り組むべきテーマを挑戦プロジェクトの7つのテーマとして掲げました。</p>
<p>人口減少社会を前提に、そこに暮らす住民が明るい希望を持てるような10年後の長野県のイメージを小説様式で文章化する。</p>	<p>計画期間の5年間で取り組むべき施策や達成目標をわかりやすく示すよう努めました。また、中・長期的な視点から魅力的な長野県を築いていくための、挑戦プロジェクトの7つのテーマも掲げました。</p>
<p>県民意見を反映させるため、計画策定段階でパブリックコメントを実施し、県民協働による計画策定を行う。</p>	<p>総合計画審議会において実施したものを含め、計画案決定までに3回のパブリックコメントを実施し、それぞれ御意見を頂戴し、策定に反映しました。</p>
<p>巻末に参考資料として、各部局の個別計画・構想の一覧を掲載したらどうか。</p>	<p>計画書の付属資料として、主な個別計画の一覧を掲載しました。</p>
<p>長野県のあらまほしき姿を表すものとして「それぞれは秀でて天を目指すとも寄り合うたしかに森なる世界」（清原日出夫歌集）を記載する。県民・市町村・多様化・個性・志・協働・確実・県等が想像される句である。</p>	<p>計画書に御提案の短歌を掲載しました。</p>
<p>次代を担う若者が社会の構成員として生き生きと暮らす長野県実現のため、行政・企業・NPOなどの支援協力による若者の社会参画促進施策により、若者の意見・アイデアを新しい長野県づくりに反映させる。</p>	<p>第7編「計画推進のための県の取組」に、県民との協働による開かれた県政について記載し、取組を進める中で、御意見の趣旨が反映されるよう努めます。</p>
<p>少子高齢化社会に備え、国内でも数少ない環境に恵まれた模範的な地域として発展し続け、県民が協力・努力できる計画としてほしい。</p>	<p>本県の誇りである豊かな自然との共生をめざすことや、県民が活力にあふれ、安心して暮らせる、住みやすく魅力ある県づくりを県民の総合力で進める視点などを盛り込んだ計画としました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
以前に作成した中長期総合計画の検証はどうか。	以前の長期構想や第2次中期総合計画は、「未来への提言」の策定により、期間の途中で役割を終えたものとされています。なお、今回の計画はあらためて、各施策における現状や課題を踏まえた上で検討を進めました。
市町村との役割分担を明確にした計画づくりをしてほしい。	市町村から頂いた意見も踏まえ、役割分担に配慮しつつ、県として取り組むべき方策について記述しました。
田舎暮らしをしたい土地になるために、今いる人が努力を	県民が活力にあふれ、安心して暮らせる、住みやすく魅力ある県づくりを、県民の総合力で進める視点を持ちながら、計画を推進していきたいと考えています。
東京などへの一極集中が著しい中でも、経済産業や農林水産業、教育福祉、医療など、僻地であってもきちんと発展していける県であってほしい。	県民が活力にあふれ、安心して暮らせる、住みやすく魅力ある県づくりを、県民の総合力で進める視点を持ちながら、計画を推進していきたいと考えています。
全国最大規模のお祭りを年1回開催してほしい	御意見の趣旨を踏まえ、本県の広大な県土のそれぞれの地域で、活力や安心を実感でき、住む人と暮らし、誇れる自然が将来にわたって輝き続けるよう、より魅力のある県づくりに努めていきたいと考えています。
東京の一極集中を中止すべき	国土形成上の課題であり、県の計画には馴染まないため、直接記載はしていませんが、本計画により、活力や安心を実感できる住みやすい県づくりを進め、地域の特色や魅力を一層高めていくことが重要であると考えています。
道州制について議論し、長野県を分割することが必要	道州制については、区割りを先行させるのではなく、住民に身近な基礎自治体と国の役割を十分に議論することが重要であると考えますが、引き続き国や経済界などの議論の動向を注視する必要があります。

意見・提言要旨	県の考え方
<p>1人あたり県民所得で全国平均以上、できれば10位以内を目指す目標の盛り込んでほしい。</p>	<p>中・長期的な視点から積極的に取り組む挑戦プロジェクトのテーマ「一人当たり県民所得全国レベルへの挑戦」で、一人当たり県民所得について国民所得の水準の実現をめざす挑戦目標を掲げました。</p>
<p>無理のない余裕のある実施予定計画が良いと思う。</p>	<p>この計画は、計画期間中に県が取り組むべき施策の方向を明らかにし、これに沿って今後の県づくりを計画的、総合的に推進していくための指針と位置付けています。</p>
<p>自然エネルギーをはじめとする地域資源を前面に押し出した中期計画としてほしい。</p>	<p>自然環境をはじめとする長野県を持つ優れた特色や資質、資源を生かしながら県づくりを進める視点を「基本的視点」の一つとして掲げました。</p>
<p>県財政について、税率を据え置き、公共事業費1/5削減、中小企業対策・農業補助金1/5削減、行政人員を30年かけて1/2にし、増税なき財政再建を。</p>	<p>御意見の趣旨は、第7編「計画推進のための県の取組」の「3 行財政改革の推進」に記載しました。</p>
<p>PDCAのサイクルの仕組みを作って進行管理をしてほしい。</p>	<p>御意見の趣旨は、「第7編 計画推進のための県の取組」の取組中「5 政策評価による計画の推進」に記載し、取り組んでいきます。</p>
<p>10広域圏程度の地域単位内で、各地域におけるそれぞれの特色を伸ばし、役割を担うことができる地域の集合体としての広域的な均衡のある発展を目指す。</p>	<p>第6編「各地域別の特性と発展方向」において、各地域の個性や特性を生かした発展方向を明らかにし、地域の実情を踏まえた県全体の均衡ある発展をめざしていきます。</p>
<p>県民による県民のための県政、県民と行政との連携や県民の義務と権利を明記した県民憲章の制定を目指すことを主要テーマとする。</p>	<p>計画は、県政運営の基本となる総合計画であり、今後の県づくりを計画的、総合的に推進していくための方向性や方策を明らかにすることを趣旨とするものです。なお、計画では、県づくりの基本的視点の一つとして、県だけでなく、すべての県民の協力により県民の知恵と力を結集して進める視点を掲げました。</p>

意見・提言要旨	県の考え方
<p>インターネットで情報発信するときには観光や農業、林業と複合的に情報を提供しているが、県でも情報発信時に複合的な情報提供をしたらどうか。</p>	<p>第7編「計画推進のための県の取組」の「1 県民との協働と開かれた県政」の取組を進める中で、御意見の趣旨が反映されるよう県政に関する情報のわかりやすい提供に努めていきます。</p>
<p>災害情報に関する提言が施策等に反映されたのか、若しくは計画策定後どう反映されるのかを県民にわかるようにしてほしい。</p>	<p>頂いた多くの御意見の計画への反映に努めるとともに、その結果を公表しました。 また、計画の推進に当たっては、県民にもわかりやすい目標管理を実施していくこととしています。</p>
<p>大事なものは差別化志向よりも、当たり前のことをきちんとやること。県も市町村、地域、団体と一緒に取り組む独自の手法を入れてほしい。それを実現するために必要である行政や職員の既存体制を変えるパワーアップを計画に入れてほしい。</p>	<p>計画は、今後の県づくりで県がとるべき方策について総合的、体系的に示すことを基本としており、県だけでなく、すべての県民の協力により取り組んでいくことを県づくりの基本的な視点としています。また、計画の着実な推進のため、県として行財政改革などに積極的に取り組んでいきます。</p>
<p>素晴らしい環境に相応しい暮らし方とそれを享受できる術や意志を持つことが大事であり、人間が変わらなければならない。（住民の受動的から能動的な行政参加姿勢への変化が必要とのこと）</p>	<p>計画は、本県の優れた資源である自然環境と人々が共生していく県をめざす姿の一つとし、県民の総合力で取り組むことを今後の県づくりの基本的な視点として捉えています。</p>
<p>広域連合と地方事務所が同じ地域を管轄しているが、両者の人的・財政的融合ができれば、行政の簡素化にもつながり、国の地方分権の受け皿にもなりうると思う。</p>	<p>第7編「計画推進のための県の取組」の「3 行財政改革の推進」に記載の「簡素で効率的な行政組織への改革」について行政機構審議会で審議する中で、また、県と市長会・町村会と共同設置する「県と市町村とのあり方検討会」などを通じて検討していきます。</p>
<p>これからは、「官民」でなく、「民官」であるべき。民の活動を官が迅速にサポートする体制をつくってほしい。</p>	<p>民間と県との協働については、第7編「計画推進のための県の取組」中の「3 行財政改革の推進」に「連携、協力を進める取組」としてその趣旨を記載しました。</p>
<p>長野県の売りは、おいしい空気、水、風、山、川だと思う。</p>	<p>計画では、本県の優れた資源を生かす姿勢を県づくりの基本的視点としつつ、自然環境と人々が共生していくことをめざす姿の一つとして位置付けました。</p>